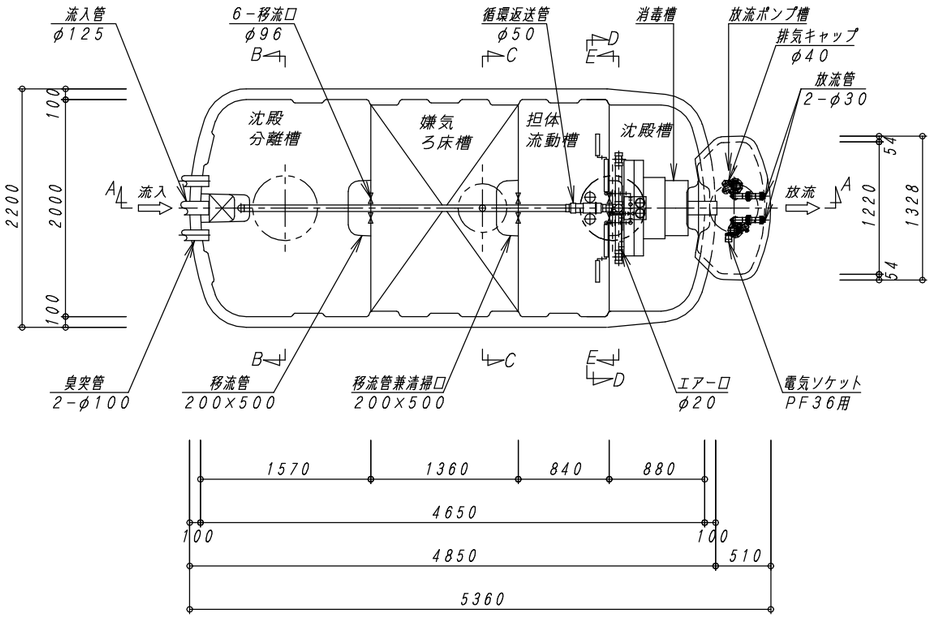
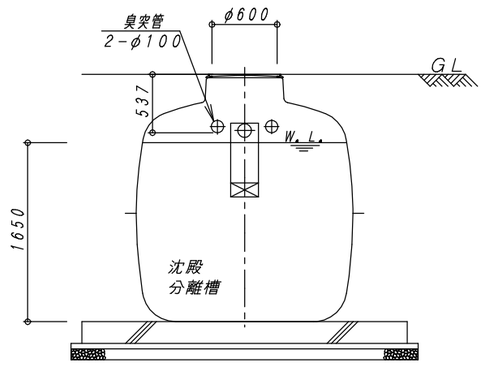
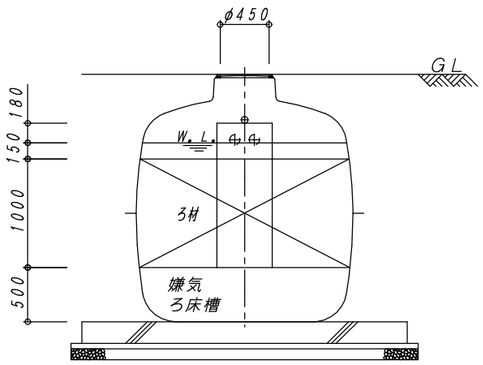


平　面　図　1：40



B－B　断　面　図　1：40



C－C　断　面　図　1：40

建築基準法第６８条の２６第１項の規定に基づき、同法施行令
第３５条第１項の大臣認定による分離嫌気ろ床担体流動方式

型式認定	番号	5－23－H－001－11
	年月日	令和５年８月４日
型式適合認定	番号	型01Cad0a0354751
	年月日	令和５年７月１３日
型　式		ダイエー浄化槽　ＦＣＸ３５ＣⅡ型
処理対象人員		３５人
日平均汚水量		７ｍ³／日
流入水質		BOD200mg/L COD100mg/L SS160mg/L T-N45mg/L
放流水質		BOD 20mg/L COD 30mg/L SS 20mg/L T-N20mg/L

容　量　表

項　目	設計容量
沈殿分離槽	４．６０５　ｍ³
嫌気ろ床槽	３．９８９　ｍ³
担体流動槽	２．７０２　ｍ³
沈殿槽	１．８３０　ｍ³
消毒槽	０．１０４　ｍ³
総容量	１３．２３０　ｍ³
放流ポンプ槽	０．０７４　ｍ³

機器仕様表　　（単相・１００Ｖ）

機器名	口　径	入　力 (50／60Hz)	吐出量 (50／60Hz)	台　数
ブロワ	φ２０	0.20/0.215kw	0.20 ｍ³/min	１台
放流ポンプ	３２Ａ	0.13 kw	0.08 ｍ³/min	２台

放流ポンプ槽排気管について

下記の処理を怠ると、浄化槽内で発生する塩素ガス等が浄化槽内および電線管の接続先付近に設置している機器類を腐食させて、機器の破損、故障を生ずる恐れがあります。

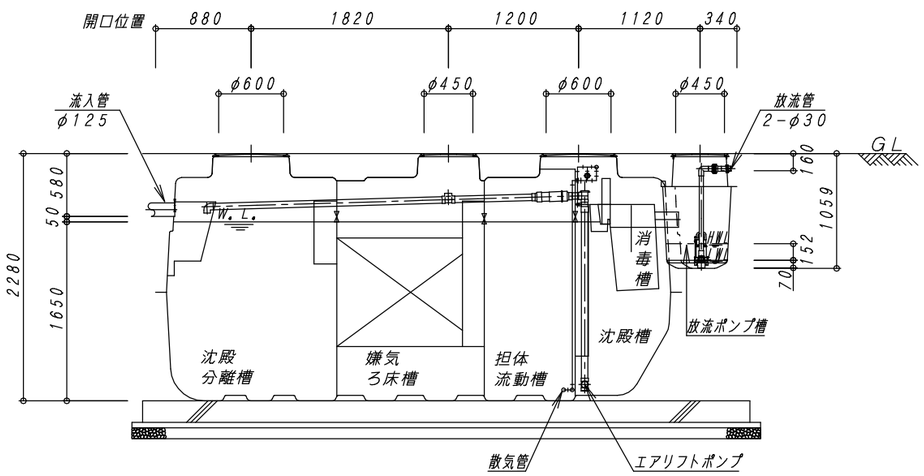
注１）放流ポンプ槽の排気管は必ず接続して下さい。

注２）排気管の放出先は、側溝の最大水位より上に設置して下さい。設置位置の目安は側溝の最大水位より100ｍｍ以上、上部とします。

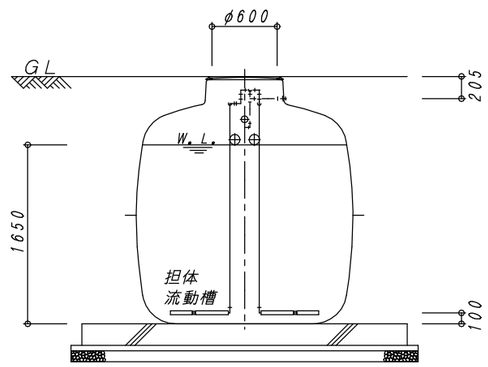
注３）排気管は途中で水たまりが出来ないように、適切な勾配で配管して下さい。
Ｖ字配管で、配管内が水たまりで水封されると排気管の設置効果がなくなります。

注４）電線管の両端は、シリコンまたはパテ等でコーキング処理を必ず行って下さい。

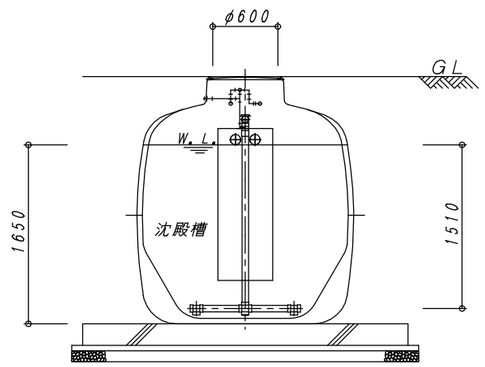
※管理用水栓は１０ｍ以内に設置すること（浄化槽工事範囲外）



A－A　断　面　図　1：40



D－D　断　面　図　1：40



E－E　断　面　図　1：40

No.	内　容	日　付	担当者	承　認	備考：寸法は内寸法とする。
△					
△					
△					
△					

承認	検図	設計	製図
間瀬	間瀬	今川	山下

DAIE　大栄産業株式会社

ダイエー浄化槽　ＦＣＸ３５ＣⅡ型

構造図　（放流ポンプ槽付）

図番	FCX35CⅡH－1
縮尺	1：40
日付	R5．7．21

REV △